

## 令和6年度 事業計画

我が国の国土は、地形が急峻かつ地質が脆弱であることに加え、近年の気候変動の影響等により、2短時間豪雨や線状降水帯の発生による長時間の集中豪雨や地震・火山活動などにより、全国各地で甚大な山地災害や林道被害が発生しています。昨年も集中豪雨や相次ぐ台風の襲来により大規模な災害が頻発しました。

地球温暖化の影響による豪雨や南海トラフ地震等による津波発生の危険度も高く、大規模災害が発生するリスクは依然として高い状況となっており、森林の災害防止機能をより一層高度に発揮させることが求められています。

また、スギ花粉症対策として、スギ林の適正な整備による花粉発生源対策やスギ材の搬出や利用の促進に必要となる林道整備も必要となっています。

このような状況を踏まえ、国民の安全・安心な暮らしを実現するため、災害復旧対策はもとより、事前防災・減災を目的とした災害に強い森林づくりによる緑の国土強靱化を一層強力に推進していくことが必要となっています。

あわせて、カーボンニュートラルやGX（グリーントランスフォーメーション）、地方創生の実現に向けた森林吸収源対策を確実に推進することが重要となっています。

一方、建設業界は、技術者や就業者数が減少傾向にあると同時に他の産業と比較しても高齢化の進行が早く、2024年4月から始まる時間外労働の罰則付き規制への対応に加え、労働者の賃金の引き上げや物価上昇に伴う資材高騰への対応が喫緊の課題となっています。

これらの課題を解決し、地域経済の活性化を図るためには、企業の安定的な経営と工事の品質の確保に必要な事業量と予算を確保するとともに、適正な利潤が確保されることが必要不可欠となっています。

これらの現状を踏まえ、秋田林業土木協会では、昨年に引続き、施工技術の向上と労働災害の防止、また、企業倫理及び法令遵守に務めるとともに、地域社会への貢献活動などを通じて、国土の保全並びに林業土木事業の発展に寄与することを目的に、理事会はもとより、コンプライアンス委員会、技術・安全委員会により企画・立案を行い、下記の事項について取り組むこととします。

## 具体的な取り組み

- 1 林野公共工事の実施より国民の安全・安心の確保等に貢献
  - ・ 地域住民の安全・安心の確保のため、森林土木事業を通して、地域への協力・支援に取り組む。
- 2 林野公共事業予算の拡充・確保
  - ・ 林野公共事業予算の拡充・確保に向けた予算要望活動に取り組む。
- 3 相次ぐ大規模災害被災地の早期復旧・復興に貢献
  - ・ 「国有林防災ボランティア協定」に基づき、森林管理署等から派遣要請があった場合には迅速に対応する。
  - ・ 日常の活動中に山地荒廃や治山・林道施設の被害等を把握した場合は、関係機関へ情報提供するとともに、会員への情報共有に務める。
- 4 デジタル技術を活用した生産性の向上と業務の効率化の促進
  - ・ 生産性の向上を図るため、情報通信技術（ICT）の導入・促進に務める。
  - ・ 工事に関する提出書類の見直し等、設計積算に係る業務の効率化に務める。
  - ・ 森林分野CPDプログラム認定の研修会等を通じて、林業土木技術者の技術の向上及び継続教育の推進に努める。
- 5 労働災害の未然防止、特に重大災害発生ゼロへの取り組み
  - ・ 関係機関と連携し安全パトロール等を実施する。
  - ・ 労働災害の情報は速やかに共有に務める。
- 6 コンプライアンス活動への積極的かつ強力な取り組み
  - ・ コンプライアンス講習会を開催するとともに、情報の共有に努める。
  - ・ 社会貢献活動を継続的に実施するとともに、情報発信に務める。
- 7 調査研究及び資料の収集
  - ・ 「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査研究」に取り組む。
- 8 会員相互の連携と交流
  - ・ 定時総会、また、研修会等を通じて、会員相互の連携・情報共有を図る。
  - ・ 協会会報の発行と内容の充実を図る。